

索引、

茜屋半七笠屋三勝心中	四七	尼御臺由井濱出	四七
赤松圓心線陣幕	四二	阿彌陀四十八願記	六九
惡源太平治合戰	三六	阿彌陀本地	六九・三・一〇〇
安口判官(あくちの判官)	五九・六・九・一〇・一〇五	阿彌陀胸切	四七
曙會我夜討	五二	阿彌陀胸割	四四・四・五四・三四・三九
阿漕平次	一九六	栗島明神御縁起	一六三
淺野紀伊守幸長	八六	淡路縁	四六
あさひな島渡り	一九九	阿波太夫	一五五
足柄	三七	安居院派	六三
蕭屋道滿大内鑑	四九八	行者	五九
愛宕本地	八七・三三		
安宅高館	一三三		
東鑑御狩卷	三八五	家忠日記	五九
あづまめぐり	六	紙鳶	三六
油屋藤兵衛	七四	生玉心中	三六・三三
尼君物語、	二六・五九	いけどり夜討	八三・四
天草四郎島原物語	一九・二九一	生寶	六六・五
		十六夜物語	一六・二九七
愛護若(あいごの若)	六・三四・四七・三四		
愛護若(あひごの若)	二六〇		
愛護若婦箱	四〇		
藍染川(あゐそめ川)	一三・一八・三三		
葵の上	三三・三四・二七		
アカイシ	二五・二七・一〇四・二五・三		
赤犬子	三一		
明石(あかし)	八三・一〇・一〇三		
赤染衛門榮花物語	一三・二六・三〇四		
	二四・二六・三七		

索引

石川五右衛門

一四・三三

一の谷逆落

八四・九四・九六・九七

今川本領猫魔館

四〇・四四

石堂丸

一四七

井筒業平河内通

三六

今川物語

一四・一九・元三

石重丸

二〇一

井筒屋源六戀寒晒

四九

今川了俊

二七・元三・四一

石橋山合戦

二四二

和泉太夫

二五・二六・二七

今源氏六十帖

三六

石橋山七騎落

八四・九七

出雲のお(阿)國

四六・七三

今宮の心中

三六

石村檢校

三二

伊藤出羽掾

九・八七・二九

今様柏木

三六

石山記

一四四

井戸田

五九

妹背山婦女庭訓

五八

石山寺開帳

三七四

絲竹初心集

三一・三五・三六

色竹蘭曲集

二七

伊勢島宮内

八四

因幡堂開帳

一四七

以呂波物語(いろは物語)

一六四・一九・二〇三

伊勢島節

一一

井上市郎大夫

一四四

石見掾

一三

伊勢大掾

一三四

井上播磨掾

一三七・三八

因縁物語

一六三

伊勢物語

一五・一八六

井上播磨藤原要榮

一三

一中

二二

井上彌兵衛

一六

一中節

一四七・三〇

井上大和少掾藤原勝則

二六

市郎兵衛

二七

井上大和少掾藤原貞則

二六

一心五戒魂

二五・三五・三五・六・四一

伊之助

二五

一心五界玉

三七

命乞

八三

一心二河白道

一六・二四

今川忍び車

一三

宇治姫切

二〇・三二・一八四

ウ

浮名西染五十年忌

四七

宇治加賀掾

一五七・三八・三四六

宇治拾遺物語

六

牛若千人切

一三

牛若辨慶島渡

一四六

薄雲今中將姫

一三〇

諸物

六

宇田公當

三

歌淨瑠璃

一〇

歌念佛

六

卯月の潤色

二五・二五六・三七五

卯月の紅葉

二五・二五六・三七五

采女正平庭訓

一三

梅川忠兵衛道行

一五二

梅田心中

四二

梅若

六七

浦島年代記

一九五・三三・三三五

漆桶萬里

二〇

愁ひ節

一五

うはなり物

七七一

エ(エ)

榮花物語

六

永閑節

二・三九

荏柄平太

一四・三八

惠俊

一四九

江戸肥前掾

七・三〇

江戸節根元集

一三

江戸孫三郎

一五

江戸孫四郎

六

江戸名所記

一八

夷泉

三

烏帽子

一六七

煙霞綺談

二四

宴曲

五

鹽谷小次郎夜討對決

一三〇・一九五

延年の館

五

オ(ヲ)

大石山丸

一三

大磯虎稚物語

二五・三五・三〇

大磯虎遁世記

一五八・一六

奥羽永慶軍記

二六・九

大掛物十幅一對

一九

扇の芝

一六・五一

扇屋熊谷

三〇

大前張

四

大薩摩

七四

大薩摩主膳太夫

一九

大薩摩節

二・二九

王昭君

六七・四七

應神天皇八白幡

四八二

大曾我

一四・三八

大竹集

一六・一〇・一九

大塔宮囃鏡

三四九

大友眞鳥	一四三・三六・五〇〇	小栗判官	六六・一四七・二〇〇	女殺油地獄	二九八
大幣	三三・二六	小栗判官車街道	四八四	女蟬丸	四四九・四六〇
大原御幸	一五五	小竹集	一八四	女袖鑑	一四三
大原問答	一六・二〇・二二六	オシラ神	七七	女大臣職人鑑	四三九
近江源氏先陣館	五五六	落葉集	二六	女舞劍紅葉	四三七
近江大孫語齋	一三〇・三二	お伽草子	九・六九		
近江節	三二	男作五雁金	五〇		
鸚鵡か袖	五九	踊歌	二四	凱陣八島	一六四・一九〇・二六八
岡五郎兵衛	一三〇	お夏清十郎笠物狂ひ	一五	傀儡師	一〇・三六・二九
岡島吉左衛門	一三	鬼鹿毛無佐志鑑	四〇・五三	傀儡子記	三六・四三
岡清兵衛	二六・二九	鬼鹿毛武藏鑑	四〇	娥歌加留多	三六・三四九・六七・九三
岡本今文彌	一四	小野お通	一七	加賀國篠原合戦	四六七
岡本鳴渡大夫	一五	小野小町都年玉	四〇・四九	加賀孫	一六〇
岡本文彌	六九・五三・三六	小原木節	三三	加賀都	四四
奥淨瑠璃	三五	面向不背玉	三〇	覺一	三三
奥の細道	三三・七	音曲道智篇	三三・三七	角太夫節	一一・四五
小倉山百人一首	一六	音曲百枚笹	三六	景清	一〇四・八七・九九
小栗十二段	一六	女歌舞伎	五	景政雷問答	二三・二六

賀古教信七墓廻	三七一	雁金文七秋の霜	一四〇・五〇一
笠屋三勝千日寺心中	四三五	雁金文七一周忌	一五四
笠屋三勝廿五年忌	四四四	雁金文七三年忌	一五四
花山院后諱	一四一・一六・一〇三・二四六	かるかや(刈萱)	六六七・九三・二〇〇
	二四七・二六・九三・三七一	刈萱道心	二〇〇
花山院都巽	三七・四〇九	刈萱道心物語	二〇一
柏崎	一六・一七・一六・二七〇	河内	八二
加増曾我	三五一・七〇・三五	河内國姥火	四七三
敵討御未刻太鼓	四六七	河内介	四七
敵討襤褸錦	四八二	川原心中	一五一
敵討物	一九五	觀阿彌	六三
嘉太夫節	一一・一五・二〇	閑吟集	七
語物	六	元日金年越	四七・四八二
上總少孫藤原正信	一五	關東血氣物語	二七・三四・一九三
葛城	六六	關東小六	四七
河東節	一一一	關八州繫馬	二六七・四八・七五
門説經	六四	看聞御記	二四
門出八島	一四・一〇・一〇・一〇四	咸陽宮	一三・一六

キ

玉露叢	六	金平千人切	三三
きよしげ	八三	金平大酒論	一三
清原右大將	一三	金平太平記	一三
清水寺開帳	一四	公平誕生記	一三
清水乃御本地	六・一〇	公平劍の立花	一三
清水利生物語	一四	金平天狗問答	一三
清元	三	金平節	一一・二六・五三
切兼曾我	六	公平法問靜	一三・三六・三七・三九・三四
錫庭雜考	五	公平法問論	五五
金時洛陽入	一九	公平北國責	一三
金平生捕問答	二三	公平武者執行	一三
金平兜論	三三	公平物	一九
金平化粧問答	三三	公平山伏問答	三三
金平戀の山入	一九	ク	
金平最期	三三		
金平歳旦發句	一九		
金平地獄破	一四		
(金平關所破り)	三三	久具都名義考	七
鬼一法眼三略卷	四〇・四六	カ	
きさきあらそひ	三七		
義経後覺	三三		
木曾幹仲	一五		
善太夫節(竹本義太夫の條参照)	一〇	キ	
甲子祭	一六		
紀海音	五九・五九六		
紀上太郎	五四		
貴船の本地	五	ク	
京今宮本地	一三・一六七・一九〇		
京雀	四		
京の次郎兵衛	八		
京土産名所并筒	四七・四九〇	ク	
京わらんべ(京童)	一八・二四・一九・一九九		
曲馬論	二〇・四〇		
	一三		

萬の葉道心

三〇二

傾城島原蛙合戦

二六七・三六一

源氏東の門出

一四一

宮内

九八一

傾城酒吞童子

二六七

源氏烏帽子折

一四七・一八七・二九〇・三六六・三六八

熊谷

六七

傾城袖の海

四四四

源氏花鳥大全

三七三

熊谷女編笠

四四四

傾城反魂香

一六六・二五五・三六六・三七二・三三四

源氏供養

一六六・二六六・四六六

熊野權現

一六四

傾城富士獄

一五五

源氏十五段

一四四

久米仙人吉野櫻

三六五・三六七

傾城懷子

三六三・三六七

源氏十二段天狗内裏

二九一

鞍馬山初寅詣

一四七

傾城三鱗形

一三〇

源氏白旗由來

一四八

車還合戰櫻

四八二

傾城無間鐘

四〇三

源氏の由來

一三三

軍法比

一四三

傾城八花形

三七七

源氏冷泉節

二二三・二五四・三九六

ケ

傾城淺間獄

三三三

傾城吉岡染

三三三・三七三・三九三・三四・三四三

賢女手習鑑

一四四・二四四

けいせい石山寺

三六六

傾城若紫

二五二

賢女手習並新曆

三三四・三六六

けいせい内房成

一五五

外記節

二二・二六・二六八

玄宗皇帝蓬萊鶴

四七九

傾城思升屋

四二二

月堂見聞集

三〇二

建仁寺供養

四九八・四〇〇

傾城懸物揃

三六七

元亨釋書

六三

源平敵討の遺恨

一四二

傾城國性爺

四〇一・四一〇

兼好法師物見車

二七一・二六五・二四四・三五一

源平盛衰記

四四四

傾城三度笠

四二二・四四四

鎌齋佐兵衛

二二七

源平太平記

二五四

索

引

源三位頼政

二六六

源平雷傳記

二六六

監物

四六

國阿上人洛陽記

一六二

言繼卿記

二五・三・四七

コ

こあつもり(小敦盛)

八三・九七

國仙野手柄日記

一五四・九三・四四

五百羅漢

一六三

戀塚物語 一五四・一六・二〇二・二五・二六・四二

五王記

三六

小舞十六番

二二三

小唄

五

小前張

四

駒太夫

三六六

吳越軍談比翼臺

四〇

語齋節

一二二

樞山姥

四三

甲賀三郎

九六・四・三八

小薩摩

七四

御湯殿上日記

四三

甲賀三郎窟物語

四六二

小ざらし物語

六六

曆

一五九・一六・三四

高三隆達

二二

古事記

一

古柳

三七

好色由來揃

八三・五九

小島佐平次

一三〇

五輪碎

五九

高名大福帳

三七

五十年忌歌念佛

二九・四二

惟喬惟仁位諱

一六・一六六

幸若

三・二九

古淨瑠璃

一〇

小六節

二三

弘法大師御誕生記

一四七

御所櫻堀川夜討

三〇・四八四

五郎兵衛

一五九

牛玉姬

四六・四九・五三・五七

五翠殿

六六

根元曾我

一五二・二七・元三

古近江

三三

小袖曾我

七九・九四・九六

根元曾我物語

二九二

弘徽殿嫉妬打

二四六・四八

五大力菩薩

一五・二四七

金剛山合戰

一六〇

故郷歸江戸咄

八三・二八

小太夫

二四・一〇一・一〇三

今昔操年代記

一三・三三七

三世相	二三	十界圖	二三	信田	101・106・107・108
三世二河白道	二六・二八	靜法樂舞	一六・一八・二〇	信田(太妻)	六七・四六・二〇〇・二〇二・四四九
三人吉三	六二	出世景清	一八・二三・三九・三六・三九	信田森女占	四一〇
		出世太平記	二六	忍四季揃	四一・六八
		四天王雷論	一五	四野宮彌四郎	二〇
只丸	三六	四天王大江山道行	一五	清水理兵衛	一四
色道大鑑	一六・三・七	四天王女大力手捕軍	一三・一六	釋迦如來誕生會	二七・二九・三一
式部節	一七	四天王高名物語	一七	釋迦の本地	六五
私聚百因緣集	六	四天王最後	三九	釋迦八相記	一七六・一九九
四十八願記	一〇・四七・二五	四天王關破り	二三	石橋	一九
四條河原芝居名代帳	一四	四天王筑紫ぞめ	一四・一六	蛇皮線	二
地藏菩薩靈驗記	六	四天王武者執行	二三	舍利	一六五・二五〇
事跡合考	七	四天王物	一〇	十二段	二九・三二
信(志)田小太郎	六・四七・一八	四天王やはぎ合戦	二九	十二段草子	一七・五・五・九・三・一〇・四・九
治太夫節	一四	持統天皇歌軍法	三六	酒吞(願)童子	一六・九一
紫竹集	一七	信濃源氏木曾物語	三七	酒吞童子枕言葉	三九・三七・二九・二八
七人比丘尼	九・六四・一八	自然居士	六・六・三七	酒吞童子若壯	一五・一四六・九〇・九一
七郎右衛門尉	七	自然居士二位前道行	一五	じゆぶつ論	一六二

主馬判官盛久	三〇・四一	女人往生記	一七	心中宵庚申	二六・二五・二六・二七
十夜物語	一六	書物賣仁田四郎	一四一		三七五・四三・四八
俊徳丸	六	下關猫魔達	二七三	新道成寺	二六
潤色江戸紫	四三・五六	次郎兵衛	四六・四八・八一	新内	二二
城元	三三	四郎與吉	七四・一三一	甚之丞	二二
城秀	三四	新うすゆき物語	四八四	新版歌祭文	五四三
唱道	六三	神功皇后三韓責	四一〇	新百人一首	四〇・四九
上東門院	一四・三三	新猿樂記	五六・四三	神武天皇	三三・二九・三二
聖徳太子繪傳記	三九三	信州姥(姨)捨山	四〇・四八	人倫訓蒙圖會	六四
聖徳太子御傳記	一九・二五・九三	信州川中島合戦	二七三	神靈矢口渡	五四七
正本屋九兵衛	一六	心中江戸三界	二六三		
聲明	三・六・三	心中重井筒	二五・三三・二六・三四	又	
焦尾琴	六六	心中鬼門角	四八・四三	末廣十二段	四〇・四七
上るり外題づくし	三六	心中天網島	二六・三三・三四	末廣昌源氏	一六・八八
淨瑠璃十二段草子	一七	心中泪の玉井	三八三	菅傳助	五四五
淨瑠璃初心揃	一六	心中二枚繪舢紙	五六五	須賀千朴	一五〇
淨瑠璃姫物語	一六・一〇・三三・五三	心中二つ腹帯	四二・四八	菅原親王	一五・三二
女人即身成佛記	一六	心中萬年草	三七八	菅原傳授手習鑑	三〇・五九

索

引

杉山丹後掾	七	說經	一・六一	草紙洗小町	一五六
菅笠節	三三	說經操	四九	増補用明天皇職人鑑	四八八
菅野傳彌	一四	せつきやうかるかや	二〇〇	巢林子	三三三
助六心中	一五・四六	說經節	查	曾我扉八景	一六六・三四
助六後日心中	四六	說經與七郎	六六	曾我會稽山	二七〇
須磨都源平鄙躰	三〇・四〇・四六	說經與八郎	六六	曾我五人兄弟	二七〇
すは(諏訪)の本地兼家	八三・九	攝州合邦辻	五七・五四	曾我姿富士	四〇七
隅田川	一六・一八	蟬丸	二六・三七	曾我多遊婦築	三五一
隅田川物語	一八	世話物	三六	曾我虎が磨	二七〇・三四
住吉踊	一九	善光寺	一四・一七・一九	曾我七以呂波	一六五・二九
セ					一六六
世阿彌	五	善光寺開帳	六	曾我花橘	九六
西王母	一六・一七・三三	善光寺御堂供養	二五・二九・三四	曾我物	九六
清玄	九	善光寺興作	三〇	曾根崎心中	一六・三五・三六・四〇
誓願寺本地	六	千載集	一六・三四	蘭八	二二
精魂物	二〇	千前軒	四九	タ	
細男の舞	四	仙人龍王威勢靜	一九	大覺大僧正御傳記	一六・七一
リ					

大伽藍寶物鏡	一四九	竹本義太夫	一〇・三九・三二・三二	爲義産宮詣	一六
大經師昔曆	三三・三六・六五・三九・三六八	竹本座	四九九	袂の白しほり	四二・四三・四七
待賢門平治合戰	九四・九七	竹本三郎兵衛	五二・五三・五五	他力本願記	一六三
大織冠	一八・一九・五三・五七・三三・三九	竹本頼母	三三七	だるまの本地	一八七
大内裏大友眞鳥	三〇・三〇〇	竹本筑後掾藤原博教	三三	たはら將軍	一四一
太平記	二八・二六・五二・四八	竹本浪花	三七	潭海	三
大佛殿萬代礎	四〇	竹本政太夫	三六	團扇曾我	二七〇
高うねぢ	一三	竹屋庄兵衛	一六	壇浦兜軍記	四八・四八
高砂	一四	多田院開帳	二六七	丹波與作手綱帶	三〇三
たかたち(高館)	五九・九三・九六・一七六	辰松八郎兵衛	三六・三二	丹波與作待夜小室節	一六・一九七
瀧口横笛	六六・四七・四九・三六・三九三	伊達娘戀緋鹿子	四三・四五		
瀧口横笛紅葉遊覽	一四六	田中千柳	四九・五〇		
瀧野檢校	四六	種彦手記	三四		
内匠虎之助	一三六	玉黒髪七人化粧	一六五	近松門左衛門	一〇・三三
内匠利理(太夫)	三七・四三	田村將軍	一四	近松半二	五一
竹子集	一六・一七	田村將軍初觀音	一四二	近本九八郎	四六
竹澤權右衛門	三六	田村のさうし	九	筑後掾	一四・三五
竹田出雲	三三・三四・四四・四九・四六・四七	爲永太郎 衛	五二	筑後掾遺曲	三六
				竹豊故事	三・一五・二〇・三六

千

中將姫京雛

四九

つれ／＼草

一三・七〇・一七・八六

天智天皇

三九・六五

忠心青砥刀

四〇

三三・七二・七三

天王寺彼岸中日

一四七

忠臣金短冊

五〇・五四

徒然草

六

天滿十太夫

六六

忠臣兵揃

一五六

天滿八太夫

五七・六六・一三四

忠臣身替物語

一六・三三・三九・三六七

テ

天滿節

一三四

京太郎

二九・三四・四五

定家

二六

天滿神明氷の朔日

一六六

鎮西八郎

一四〇

手品市左衛門

二七

鎮西八郎爲朝

一四一

手品節

二七

鎮西八郎爲朝

一三八・一四一

照天姫操の車

二四

東海道虎石

三七

鎮西八郎唐土船

四二〇

天下一石見縁藤原重信

二四

東海道名所記

四・八一

ツ

天下無双薩摩太夫

七・九

東岸居士

九〇

傳教大師記

一四七

道具屋吉左衛門

一四五

筑紫問答

一五

天狗内裏

一六・二六

道具屋節

一四

都志王丸

一四七・一〇〇

天狗羽打

一五

當世小唄揃

二二・二六

津戸三郎

一八一

天鼓

一四・三五・五三・五五・五二四

當世なげ節

二六

綱金時最後

一五

傳授小町

一五

唐船噺今國性爺

二七・三二・三四

津國女夫池

二七・三三・三六

天神記

二六・三三・五三

どうだいき

八三

鶴澤三二

四六

天親菩薩

一四七

道風額揃

一四〇・一六

當流小栗判官
融
融大臣
戸隠山太平御剣
時慶卿記
常聲津
德永種久紀行
土佐少掾橘正勝
土佐節
利家夜話
鳥羽屋治郎吉
富本
巴太鼓
豐竹越前少掾
豐竹上總少掾藤原重勝
豐竹座
豐竹肥前掾
富永平兵衛

索

引

三七	虎澤檢校	三	投節	二三
二六	虎の巻	一六・一六・二九	名古屋山三郎	二六
一五・三六	虎屋永閑	一元	那須船遺恨	一五
一六	虎屋喜太夫	一五	那須與一小櫻威	三七
四七	虎屋源太夫	六	榮種の花盛	一五
二	虎屋小源太	一元	七小町	一六
七・一〇	鳥追舟	一〇六	難波雀	一五
二六	曇鸞記	六	難波八景	一六
二・二六	曇鸞大師御傳記	一四	難波土產	三・三七・四八
四	十		並木正三	五八
四			並木千柳	五〇六
三	長歌古今集	二六	並木宗助(輔)	四六・五〇
一五	中小路	三	奈良柴	五
一六	長門掾	一三	成田山分身不動	一六
一五	長門掾藤原爲英	一三	業平一代記	一六
四〇	長町女腹切	三三・三四・三九	男色比翼鳥	一五
一六	仲光	一七	なんば橋心中	四二
三〇	中村勘三郎	七	南浦文集	四八・五〇

二

錦文流

三五・三七・四三・四四

西澤一風

四四・四九・五三

西澤一鳳

四九

にたんの四郎

一四〇

日蓮上人記

二七〇

日蓮上人御傳記

二七

二人梔久

四七

日本王代記

一三・二六・四一・八六

日本鐘馗大臣

四三

日本西王母

二六

日本大王

二三

日本振袖始

二五

日本武將始

二三

人情物

二〇

又

ぬめり節

二三

ぬれぼどけ

二三・二六

ネ

猫麗達

三五

壽門松

二五・二八・三三

念佛往生記

二〇・二五・三六

野田若狭

四三

野呂松勘兵衛

二五・二七

ハ

梅花無盡藏

三〇

博多小女郎浪枕

二九

箱根山合戦

一〇・二五

長谷川千四

四七

艶容女舞衣

四七

はなや

二七・二八・一〇一・一〇三

はやり歌古今集

二六

林羅山

九

はらた

八

孕常盤

二五・二七・二六

播磨節

一一

反逆物

一四

半太夫節

一一・三一

半之丞

一一

ヒ

東山三幅對

一六

東山殿子日遊

一五・一六・一九・二一・二四

二四・二七・二四七

引田淡路掾

四・四六

日暮市九郎

六

日暮小九郎

六

日暮小太夫

五・六

日暮八太夫
彦三近江八景
毘沙門の本地
美丈御前幸壽丸
肥前縁
肥前節
日次記事
秀平三代記
人買物
姫藏大黒柱
尾陽戲場事始
非人敵討
百戯述略
百神
百太夫
日向景清
表具又四郎
兵庫の樂島

素

引

五五	ひらがな盛衰記	四四	風俗	一〇六・二七三
五二	廣瀬式部太夫	二七	双生隅田川	三五・五七・二六九
三四六	卒		穉靜胎内語	一三八・一四〇
三〇	風俗陀羅尼	三四	文耕堂	四七三
一一・三〇	風流和田酒盛	一三・六七	豐後三流	一一
三九	舞樂郭曲	三	豐後節	一一
一三六	ふきあげ	一三三	文武五人男	三七・六七
一〇〇・一〇七	吹上秀衡入	八四・六	文彌節	一一・一五・一三〇
三五一	福井彌五右衛門	一一三		
四九・六六	福内鬼外	五四		
一一・四八二	武江年表	六	平安城細石	四〇九
七四	藤井小三郎	四六	平安城都選	一六四・一六六・一九四・四〇九
三七	富士の人穴草紙	九	平曲	三・五・四
四一	藤壺弘徽殿	三七	平家女護島	二六九
一四三	藤壺の怨靈	二五	平家物語	一一・一八五
一九六	舞正語磨	三	辨慶京土産	一六五
一三四	伏屋	八三	辨財天利生物語	一四七

水

判官物

九六・一九〇

方丈記

一八六

北條宮内

九

北條時頼記

三六五・四二一・四三三・五〇三

法藏比丘

六七・一〇〇

法撥節

三三

法隆寺開帳

三三七

ほそり節

三三

佛舞し

九

堀川波鼓

三九七

本朝三國志

三七三

本朝二十四孝

三三三

本朝廿不孝

八六

本朝用文章

三五・七二・一六五

ぼんてん(梵天)國

六七・三四

煩惱即菩提記

一六四

本領曾我

二七〇・三二五

マ

枕草子

六

孫兵衛

四九

又四郎節

一五六・三三〇

町淨瑠璃

一五三

松浦五郎

三三

松浦五郎旅日記

一四五

松浦長者

六

松風村雨束帶鑑

二六六

松田和吉

四四・四七三

松の落葉

二七

松の葉

三三・二六

松本治太夫

一四六

松山新助

二二

待宵物語

一四

待夜小室節

二五・三五六

眞野長者

一六三

摩耶山開帳

一六五

丸腰連理松

四二・四三

萬歲踊

二二七

満仲

四四

ミ

一六五・三三七・四〇八

三井寺開帳

一〇六

三井寺狂女

六三

三井寺派

四〇九

三井寺不動豐年護摩

四八〇

三浦大助紅梅約

三六

身代り

四四六

身替弓張月

四八七

眉間尺象貢

一三三

御館權太郎清平

一六・二四六

道行揃

四九〇

御堂前葛蒲帷子

南傳内

一三

冥途飛脚

二九・三六・四三

八橋檢校

三四

源義經將基經

二九

明良洪範

二六

柳川檢校

三四

三原合戰

一四

目貫屋長三郎

四六・五九

大和歌五穀色紙

四九

都一中

二・四九

モ

日本武尊吾妻鏡

二五

宮古路豐後

二

山名神南合戰

一九二

都羽二重拍子扇

一五三

求塚身替新田

三五

山本角太夫

六九

都めぐり

四六・五九

紅葉狩

一八・二四・一八七

山本相模豫藤原吉勝

一四六

ム

絶狩劍本地

二七・三七

山本土佐掾

一三七・一四・三八

守武千句

一九

山本彌三郎

一四〇

昔米萬石通

四九・四二

盛久

一五・二六・三九

矢の根

一七

武藏權太夫

一四

文覺

九三・九七

八百屋お七

一五・四六・四三

陸竹小泉太夫

四二

ヤ

八百屋お七歌祭文

四二・四〇

陸奥茂太夫

三七

八百屋お七戀緋櫻

四六

宗長日記

一九

役者繪づくし

一五

やや子踊

四〇

むらまつ(村松)

九・一〇七

八島

五九・八六・九四・九六

やや子踊

二二

室町殿日記

三

入島合戰

一四八

鎌權三重帷子

二七

×

安田蛙文

四二・四六・一〇三

野郎歌舞伎

五

やすだ物語

二・二三・三

野良立役舞臺大鑑

三九

索

引

五七九

ラベツカ

蘭曲後撰集

亂曲揃

亂舞

リ

隆達節

崙山上人由來

レ

靈驗物

れんぼ節

朗歌

六左衛門

六字南無右衛門

六孫王經元

六段物

籠齋

索

引

三

弄齋節

三三

二七

一六

五

若狹守藤原吉次

八三

若衆歌舞伎

五

若竹笛躬

五五

三二

和歌竹政太夫

三八

一四

若綠

二七

和氣清麿

一六四・一六六

和田五翠殿

二八

九

和田判官朝長

八三・九四・九七

二二

和讃

七・六三

四

渡邊岩石割

一三

一元

倭名類聚鈔

三六・四三

八五

梶久一世の物語

四三

二三

梶久狂亂笠

四四

一七

梶久熊谷笠

四二六

二三

梶久末松山

一五・四二・四三・四三